

年間授業計画様式

日野高等学校 令和5年度 教科[理科] 科目[化学基礎] 年間授業計画

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年（1組～7組）

教科担当者：（ 田代 ）

使用教科書：（ 実教出版 新版化学基礎 新訂版 ）

使用教材：（ 数研出版 大学入学共通テスト対策 チェック&演習化学基礎 ）

	指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月				
	酸と塩基	酸塩基の定義(アレニウスの定義・ブレンステッドローリーの定義)に沿って、酸塩基を説明できる。 酸塩基の強弱と電離度の関係を理解し活用できる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸と塩基	pHの定義をしっかりと理解し、具体的な酸や塩基のpHを計算で求めることができる。 中和反応を理解し、化学反応式で表記できるようになる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸と塩基	中和反応の量的関係により酸や塩基の濃度を求めることができる。 中和滴定に使用する器具の名称を役割を答えることができる。 中和反応の量的関係により酸や塩基の濃度を求めることができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2

	指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月				
	酸と塩基	中和滴定の量的関係を求めることができる。 中和滴定実験の具体的な手順を理解し、活用できる。 滴定曲線の特徴から、適切な指示薬を選ぶことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
	酸と塩基	中和滴定の理解と、酸塩基の強弱の関係から滴定曲線について理解を深める。また、中和滴定実験における指示薬の選択について考える。 塩を分類できる。塩の液性を答えることができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
	酸と塩基	テスト 酸と塩基の総復習	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	1
	酸化還元	酸化還元反応の定義(酸素・水素・電子)から、物質が酸化されているか還元されているかを理解する。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2

指導内容		科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	酸化還元	酸化数について理解し、酸化数を活用できる。 酸化剤と還元剤の定義から、反応における物質が酸化剤か還元剤かを区別できる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	各物質が、酸化剤および還元剤として働く様子を表した式を用いて、酸化還元反応の反応式を書くことができる。 酸化還元の量的関係について理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	酸化剤・還元剤の半反応式を自ら作り出すことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	酸化剤と還元剤の半反応式を利用して、酸化還元反応の化学反応式を組み立てることができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2

		指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		酸化還元	酸塩基と酸化還元反応の理解度を確かめる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	1
		酸化還元	酸化剤と還元剤についての理解を深める。問題演習。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2

		指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月					

指導内容		科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	酸化還元	金属が電子を失いやすいことを理解したうえで、金属ごとの電子の失いやすさが異なることを理解し、整理する。 イオン化傾向の大小による反応の特徴を化学反応式で書くことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	電池の仕組みを酸化還元反応の観点から理解することができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	ダニエル電池や鉛蓄電池に関して、負極と正極の反応を化学反応式で書くことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	身の回りで活用されている代表的な電池について知り、その性質と酸化還元反応の関わりを理解する。特に、燃料電池やリチウムイオン電池について理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2

	指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	電気分解	電気分解を酸化還元反応の観点から理解し、陽極や陰極の反応を化学反応式で書くことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	電気分解	電気分解を酸化還元反応の観点から理解し、陽極や陰極の反応を化学反応式で書くことができる。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
	酸化還元	酸化還元を中心とした確認問題実施。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	1
	物質の構成粒子	周期表を中心に問題演習を行い、理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2

		指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月					
		化学結合	イオン結合や組成式、イオン半径などについて問題演習を中心に理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
		化学結合	共有結合、分子間力、配意結合、共有結合からなる物質を中心に問題演習を行い、理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
		化学結合	金属結合及び結晶の分類についての演習を行い、理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2
		物質質量と化学反応式	物質質量を中心とした演習問題を実施し、理解を深める。 様々な濃度計算についての演習を行い理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出状況などを総合的に評価する。	2

		指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月		化学結合 物質と化学反応式	化学結合および量的関係についての確認問題。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	1
		物質と化学反応式	化学反応の量的関係全般についての演習問題を実施し、理解を深める。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
		化学基礎全般	化学基礎の総復習を兼ねた問題演習を実施し、自分の理解度を知るとともに、理解の定着を図る。。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
		化学基礎全般	大学入学共通テストに向けた総合的な講義と演習を実施。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2

		指導内容	科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月					
		化学基礎全般	大学入学共通テストに向けた総合的な講義と演習を実施。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
		化学基礎全般	大学入学共通テストに向けた総合的な講義と演習を実施。	・定期考査の得点 ・授業への取り組み ・課題プリントやレポートの提出 状況などを総合的に評価する。	2
		化学基礎全般	個別指導		

指導内容		科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	化学基礎全般	個別指導		
	化学基礎全般	個別指導		
	化学基礎全般	個別指導		
	化学基礎全般	個別指導		

指導内容		科目 化学基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	化学基礎全般	個別指導		
	化学基礎全般	個別指導		